

令和7（2025）年度 「高校生！みんなでかぶろう自転車ヘルメット」着用推進校を対象とするヘルメット等に関するアンケート結果

令和7（2025）年10月まとめ
栃木県生活文化スポーツ部くらし安全安心課

1 調査目的

高校生の自転車ヘルメット着用状況や自転車保険の加入状況を把握し、今後の自転車安全利用促進に向けた取組の参考とする

2 調査実施の概要

（1）調査期間

令和7（2025）年9月18日（木）から同年10月14日（火）

（2）調査方法

令和7（2025）年度「高校生！みんなでかぶろう自転車ヘルメット」着用推進校に調査を依頼し、生徒がマイクロソフト・フォームズにより回答

（3）対象者

令和7（2025）年度「高校生！みんなでかぶろう自転車ヘルメット」着用推進校生徒
(6,377人)

※推進高校 県立高校10校 私立高校2校

3 回答率

回答率51.8%（アンケート対象者6,377人、回答者3,301人）

表1 回答者属性（学年・性別）

学年・性別		回答数	構成比
合計		3,301人	100.0%
1年生	男	1,853人	56.1%
	女	1,333人	40.4%
	回答したくない	115人	3.5%
2年生	合計	1,247人	37.8%
	男	756人	22.9%
	女	449人	13.6%
	回答したくない	42人	1.3%
3年生以上	合計	961人	29.1%
	男	478人	14.5%
	女	454人	13.8%
	回答したくない	29人	0.9%
3年生以上	合計	1,093人	33.1%
	男	619人	18.8%
	女	430人	13.0%
	回答したくない	44人	1.3%

○ 結果利用にあたっての注意事項

- ※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。
- ※ n (number of cases)は、比率算出の基準であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- ※ 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合がある。
- ※ 4年生は3年生に含み算出している。
- ※ 複数回答方法・・・(MA)=いくつでも選択、(2MA)=2つまで選択
- ※ 表中、「回答したくない」・「無回答」は性別について回答したくない事を意味している。

4 自転車ヘルメット着用に係る回答結果

(1) 自転車利用状況

- 問5 通学や日常生活（出かける際など）で自転車を利用していますか。
- 問6 問5で「利用する」と回答した方に伺います。自転車の利用目的は何ですか。
- 問7 問6で「通学のみで利用する」「通学や外出で利用する」と回答した人に伺います。
自転車の利用区間を回答してください。

ア 自転車を利用する生徒について

図1－1 自転車利用者数

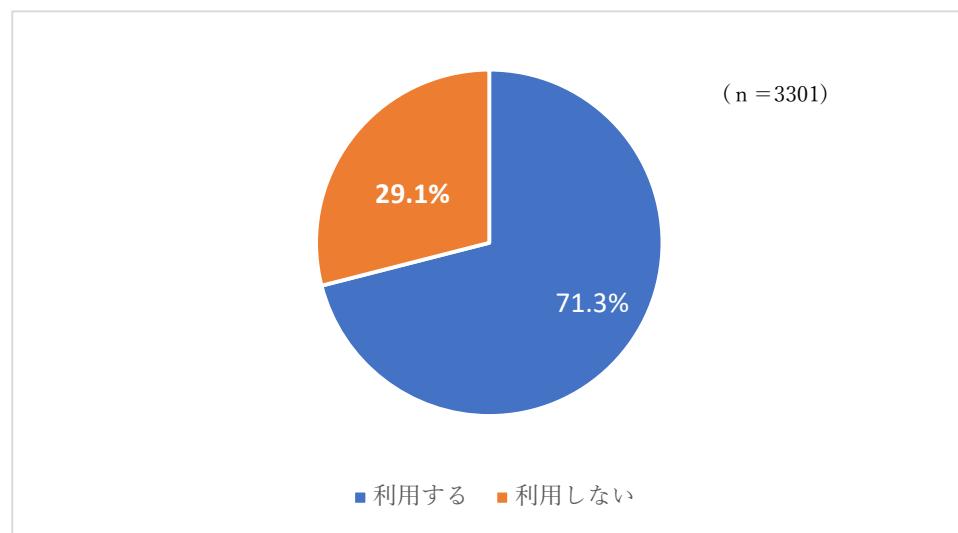


図1－2 学年別自転車利用者数

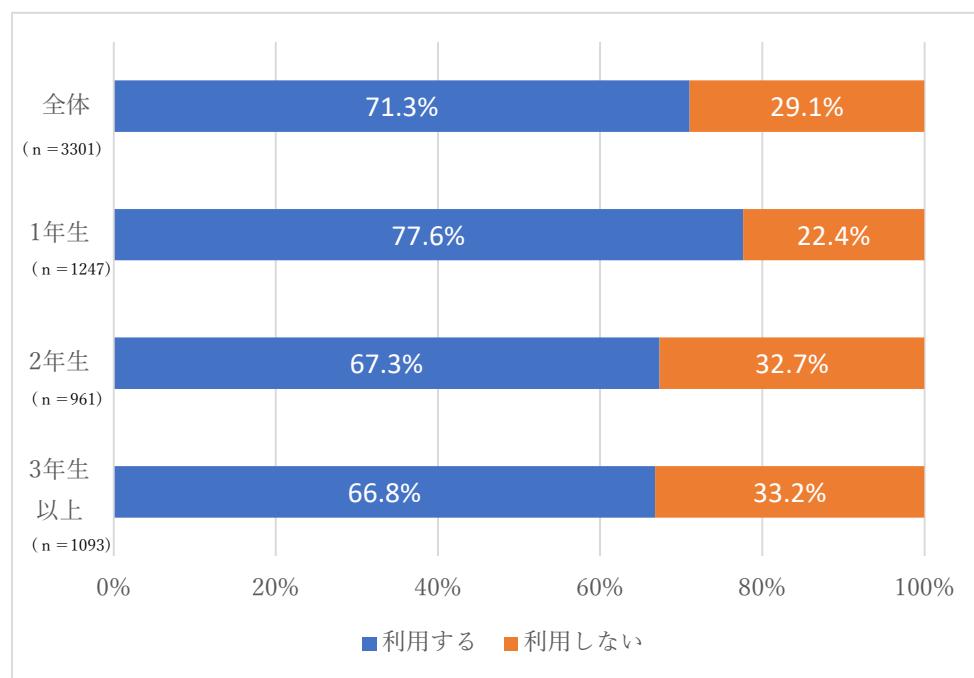
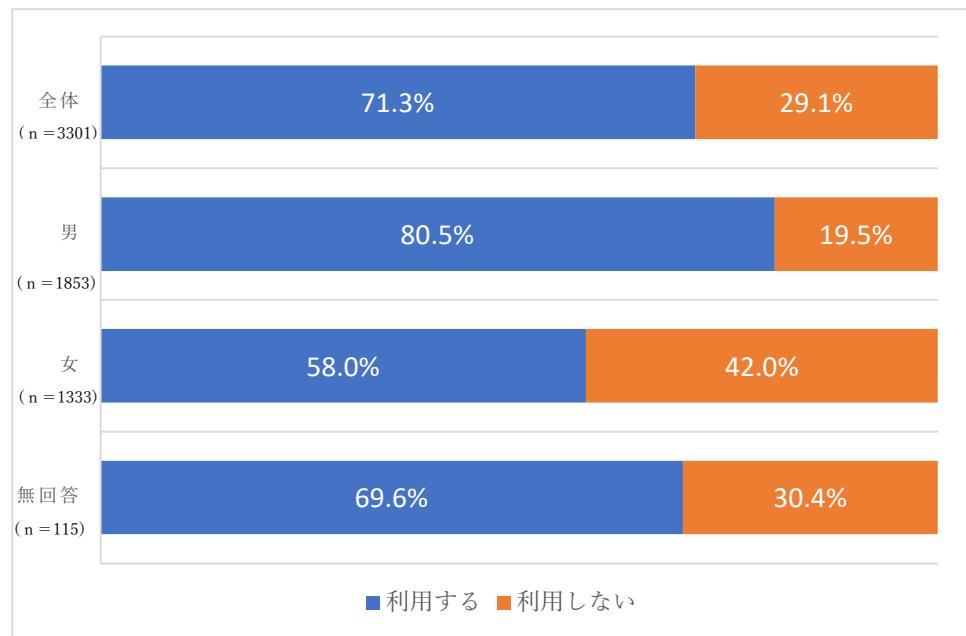
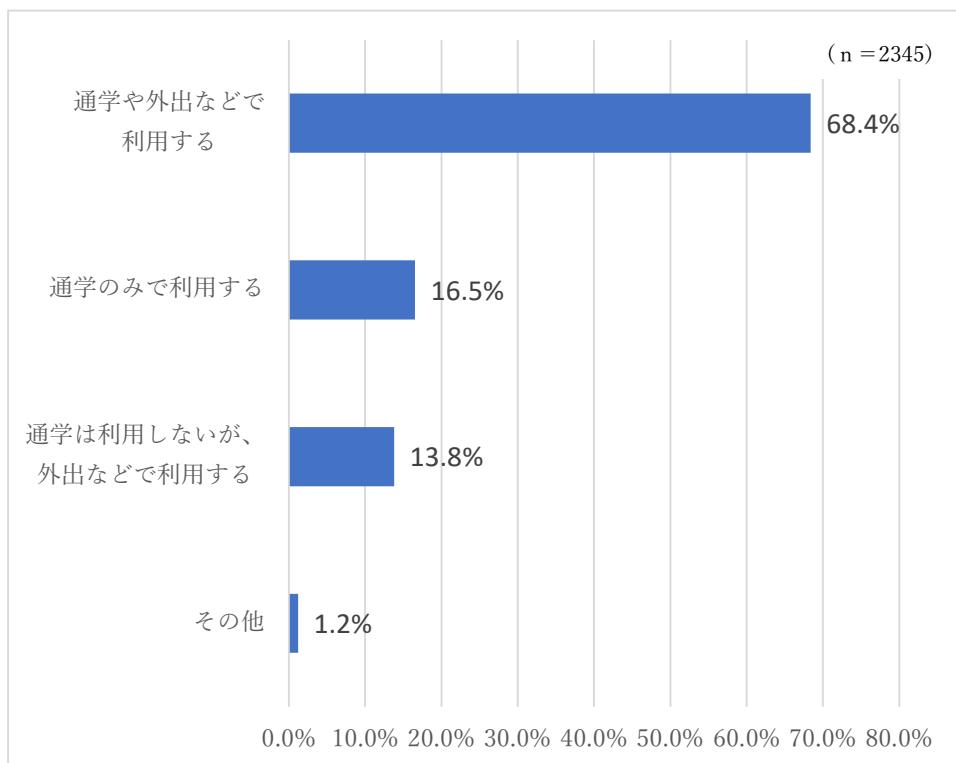


図1－3 男女別自転車利用者数



イ 自転車の利用目的について

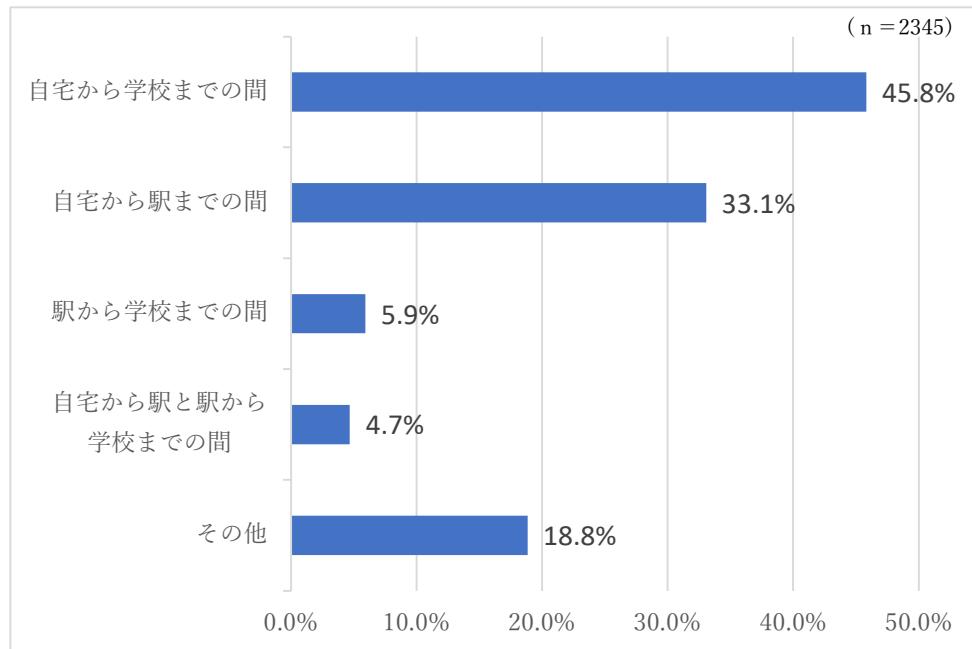
図2－1 自転車を利用すると回答した生徒の自転車利用目的



ウ 自転車利用区間

統計

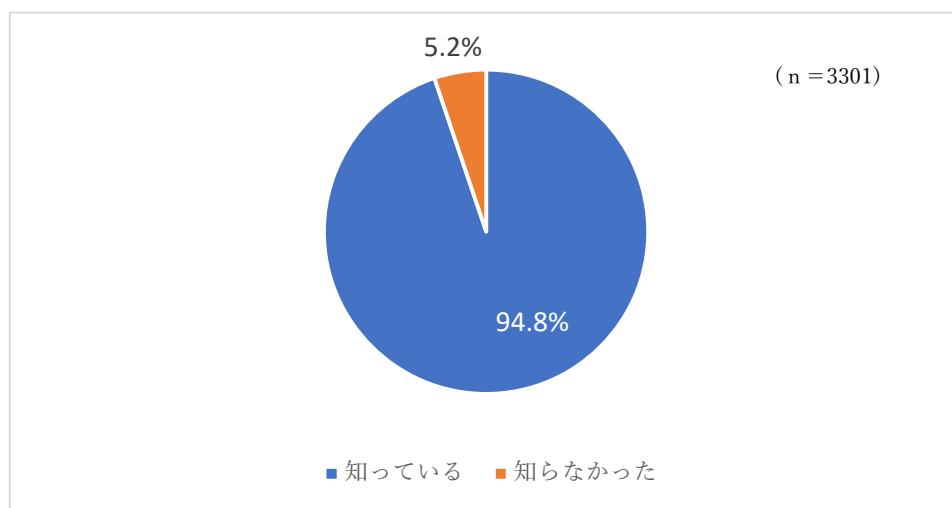
図2－2 自転車を利用すると回答した生徒の自転車利用区間



(2) 自転車ヘルメット着用努力義務化の認知度

問4 道路交通法と栃木県の自転車条例で自転車に乗る際は、自転車ヘルメットの着用が努力義務となっていることを知っていますか。

図3 ヘルメット努力義務認知度



(3) 着用可能な自転車ヘルメットの所持率

問8 問5で「利用する」と回答した方に伺います。

現在、着用可能な自転車ヘルメットを持っていますか。

※ ヘルメットを持っているが、実際に着用していないもの(例：中学校時のヘルメットなど)しかない場合は「いいえ」と回答してください。

図4－1 ヘルメット所持率（男女別）

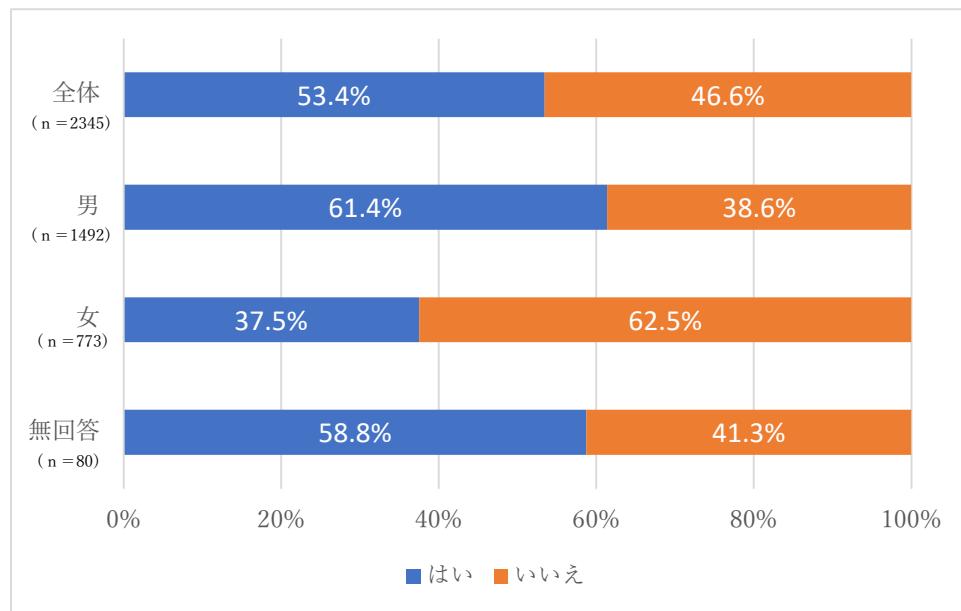
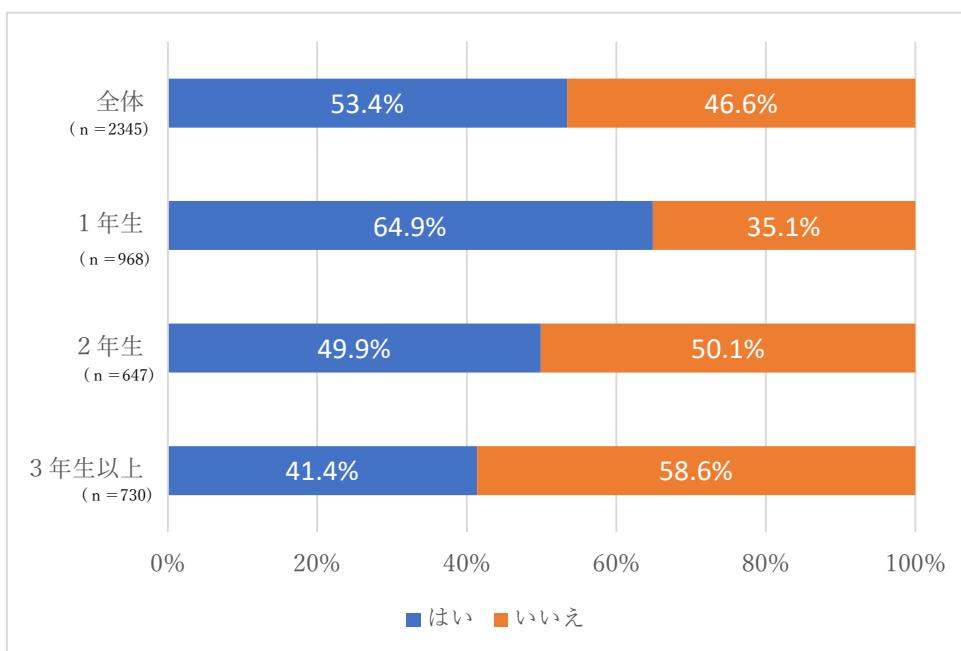


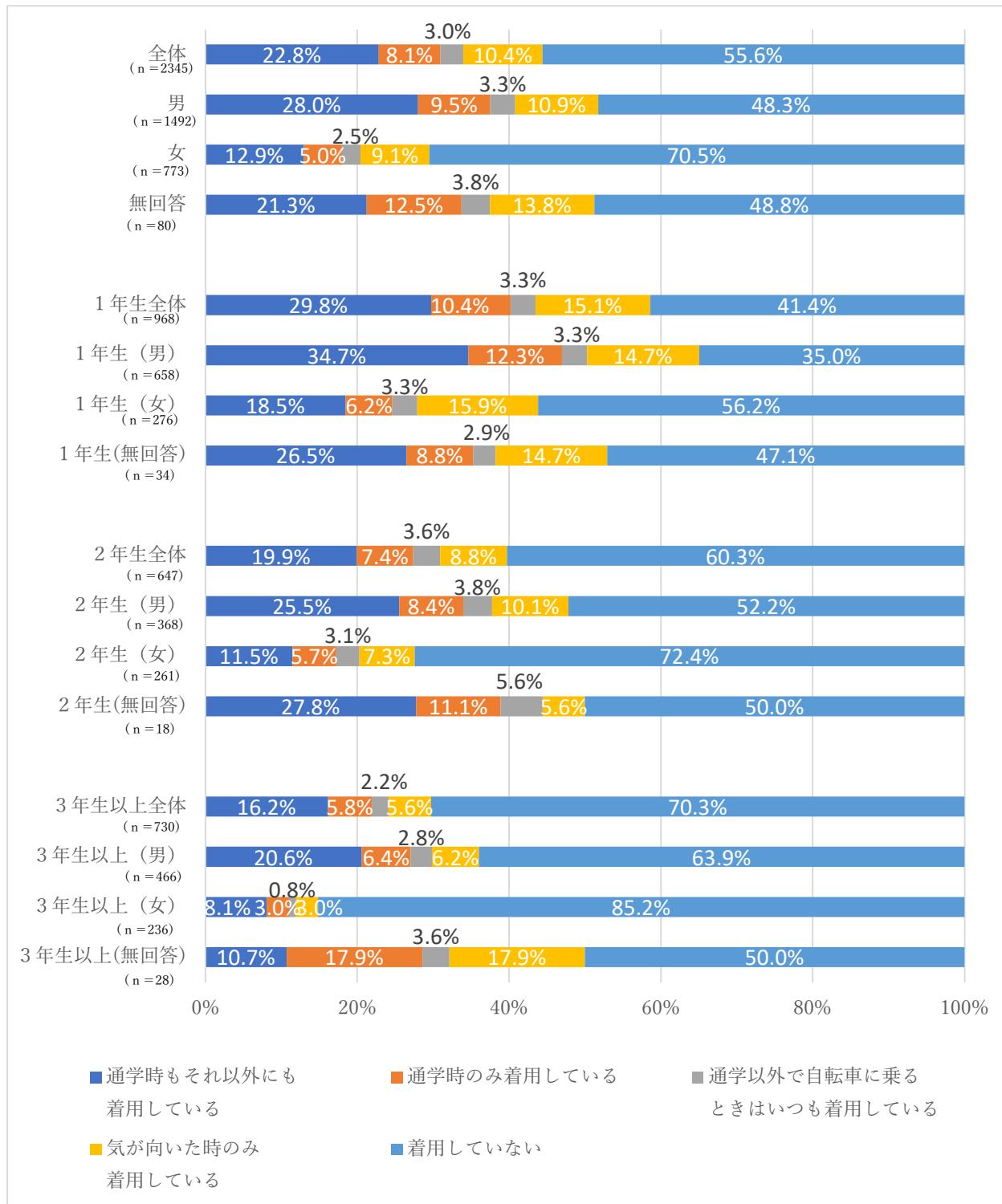
図4－2 ヘルメット所持率（学年別）



(4) 自転車ヘルメットの着用について

問9 問5で「自転車を利用する」と回答した方に伺います。
自転車を利用するときにヘルメットを着用していますか。
(通学時以外の日常生活も含みます)

図5 自転車ヘルメット着用状況



(5) ヘルメット着用の意志

問10 問9で「気が向いた時のみ着用している」「着用していない」と回答した方に伺います。
高校生になって、今までに自転車ヘルメットを着用しようと思ったことはありますか。

問11 問10で「はい」と回答した方に伺います。自転車ヘルメットを着用しようと思った理由
は何ですか。(最大2つまで)

図6-1 着用意志

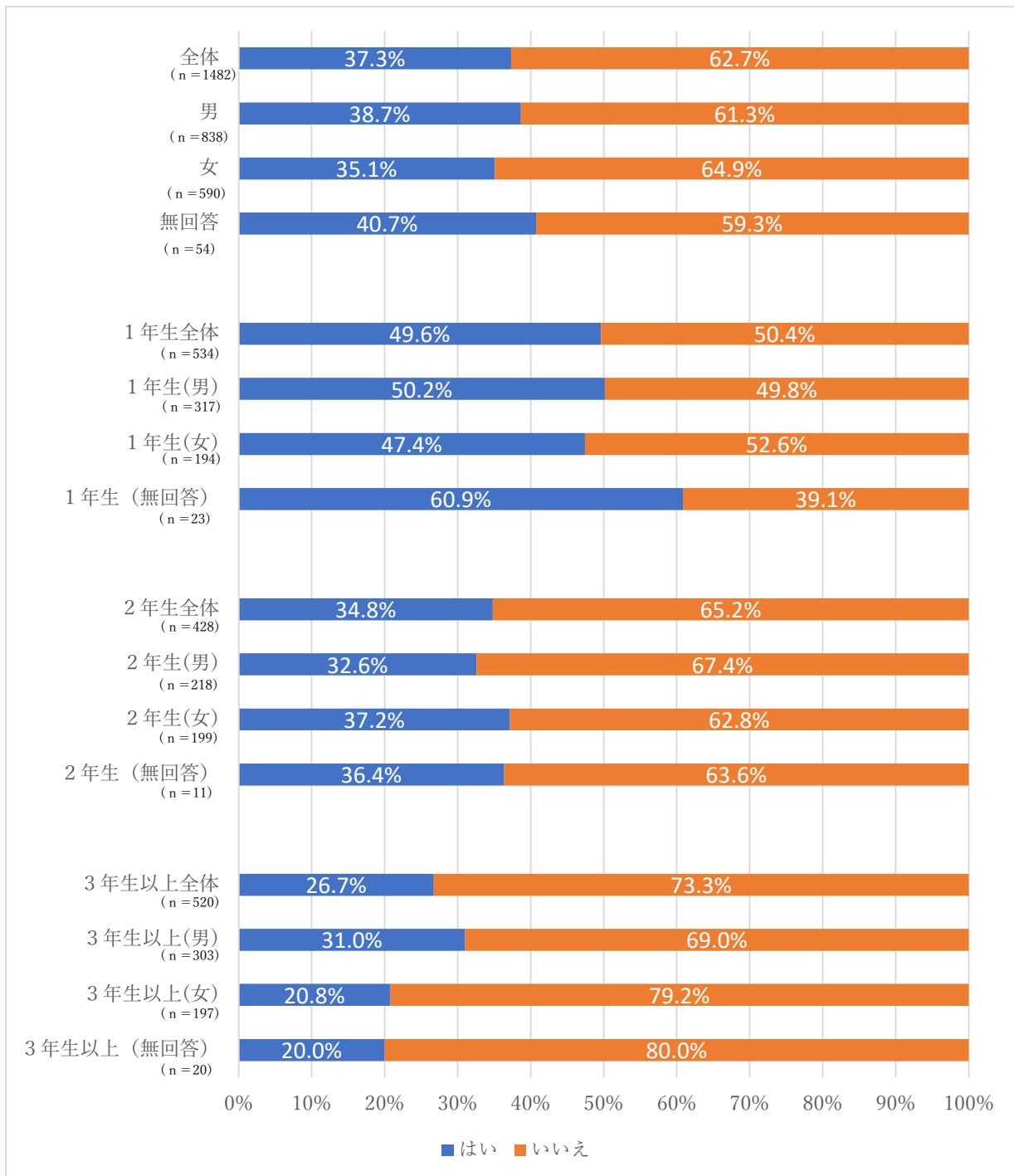
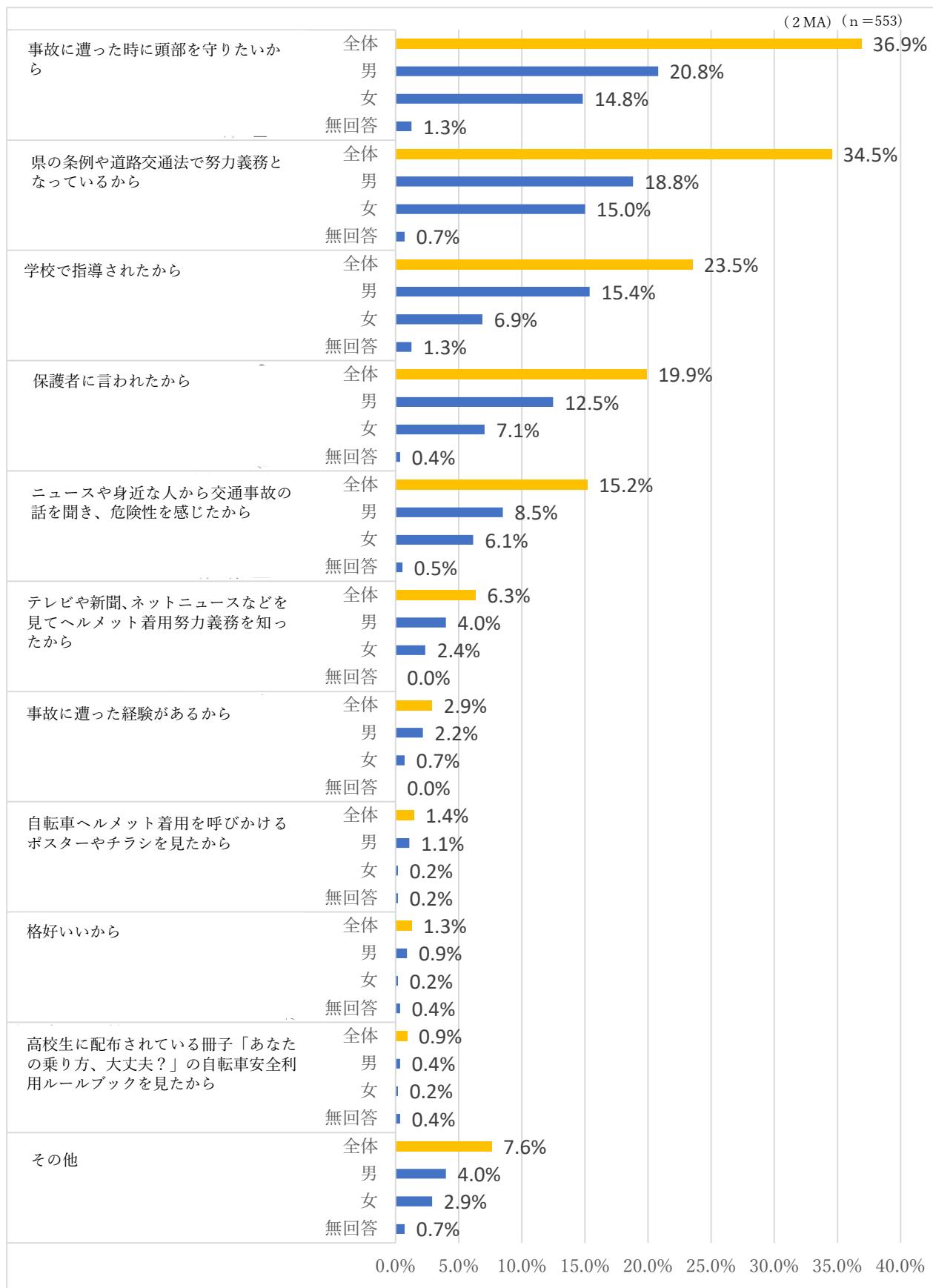


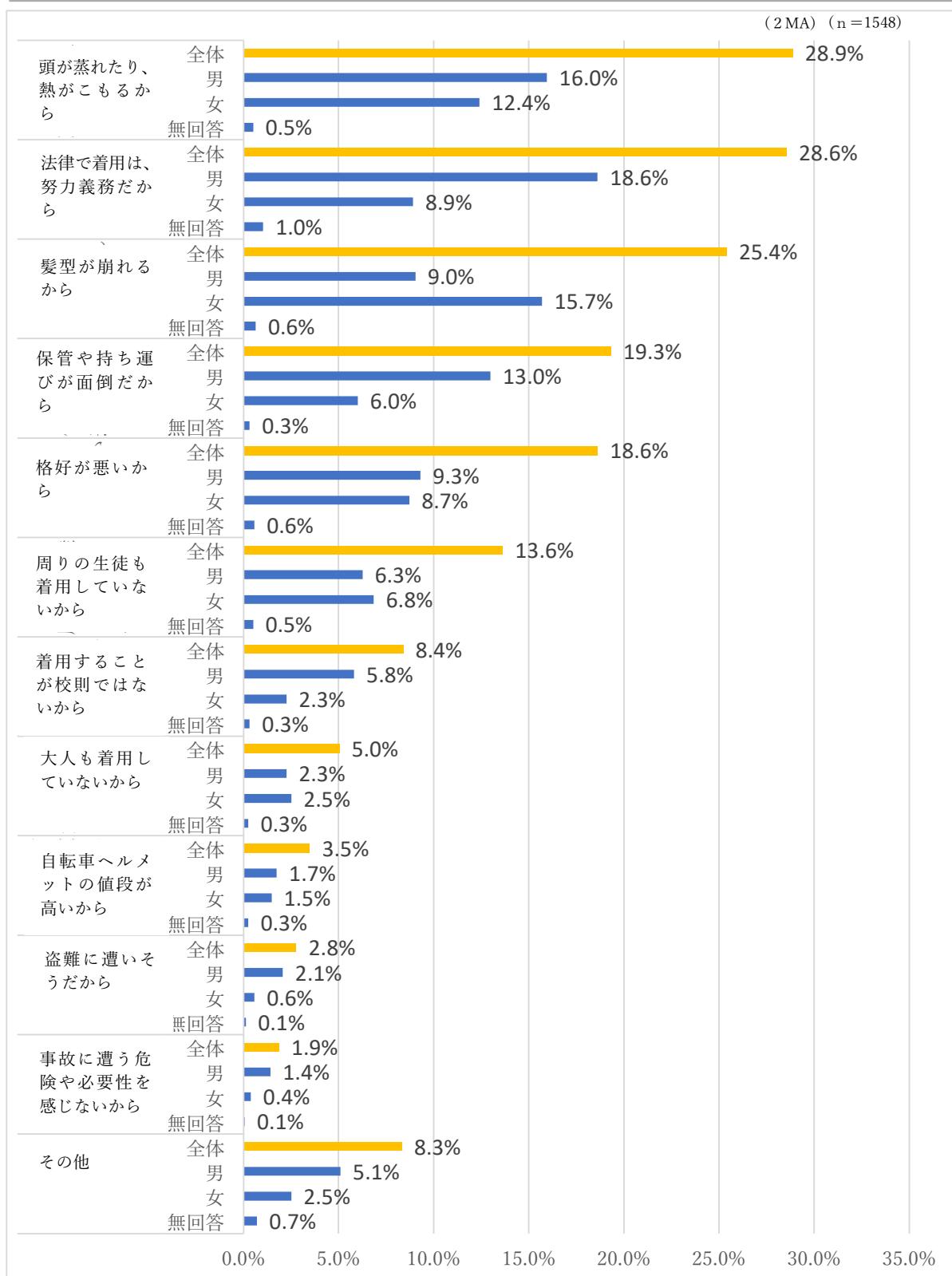
図6-2 着用しようと思った理由



(6) 着用しない理由

問12 問9で「気が向いた時のみ着用している」「着用していない」と回答した方に伺います。自転車ヘルメットを着用しない理由は何ですか（最大2つまで）。

図7 ヘルメット非着用の理由



(7) 自転車交通事故による頭部重傷認知度

問13 全国の自転車事故の死者のうち、半分以上の人人が頭部に致命傷を負っていることを知っていますか。

問14 ヘルメットを着用しない場合、事故に遭った際の致死率が着用時に比べて約2倍にものぼることを知っていますか。

図8－1 自転車交通事故による頭部致命傷認知度

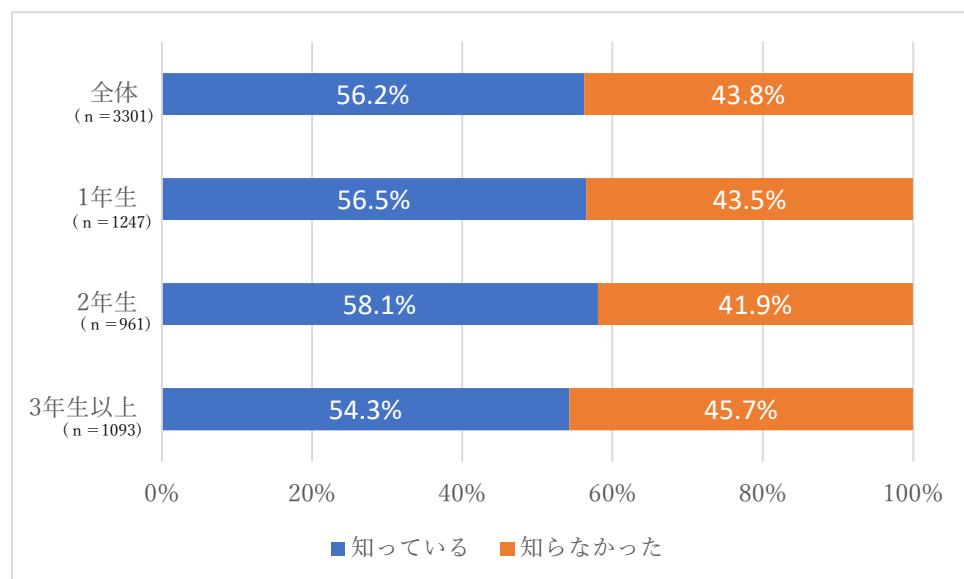
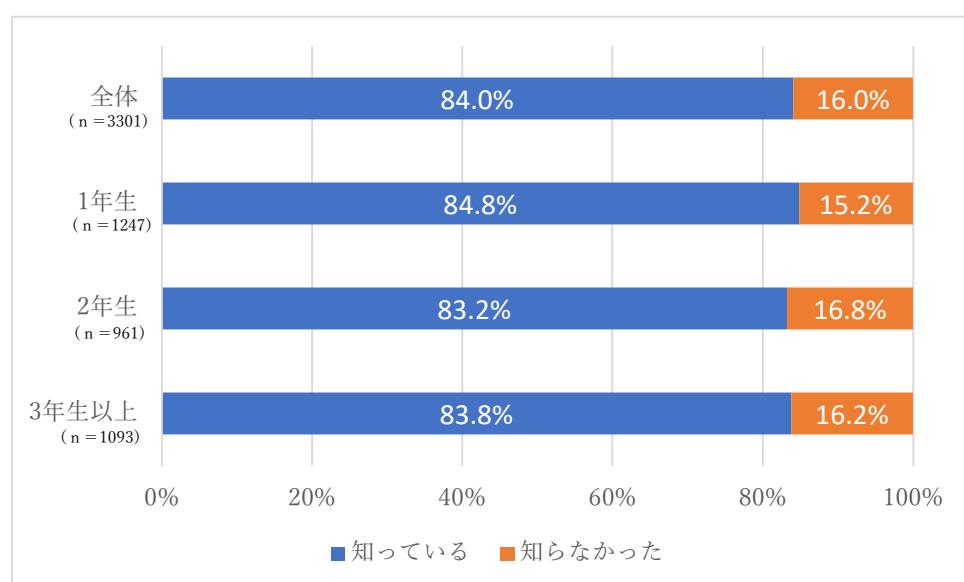


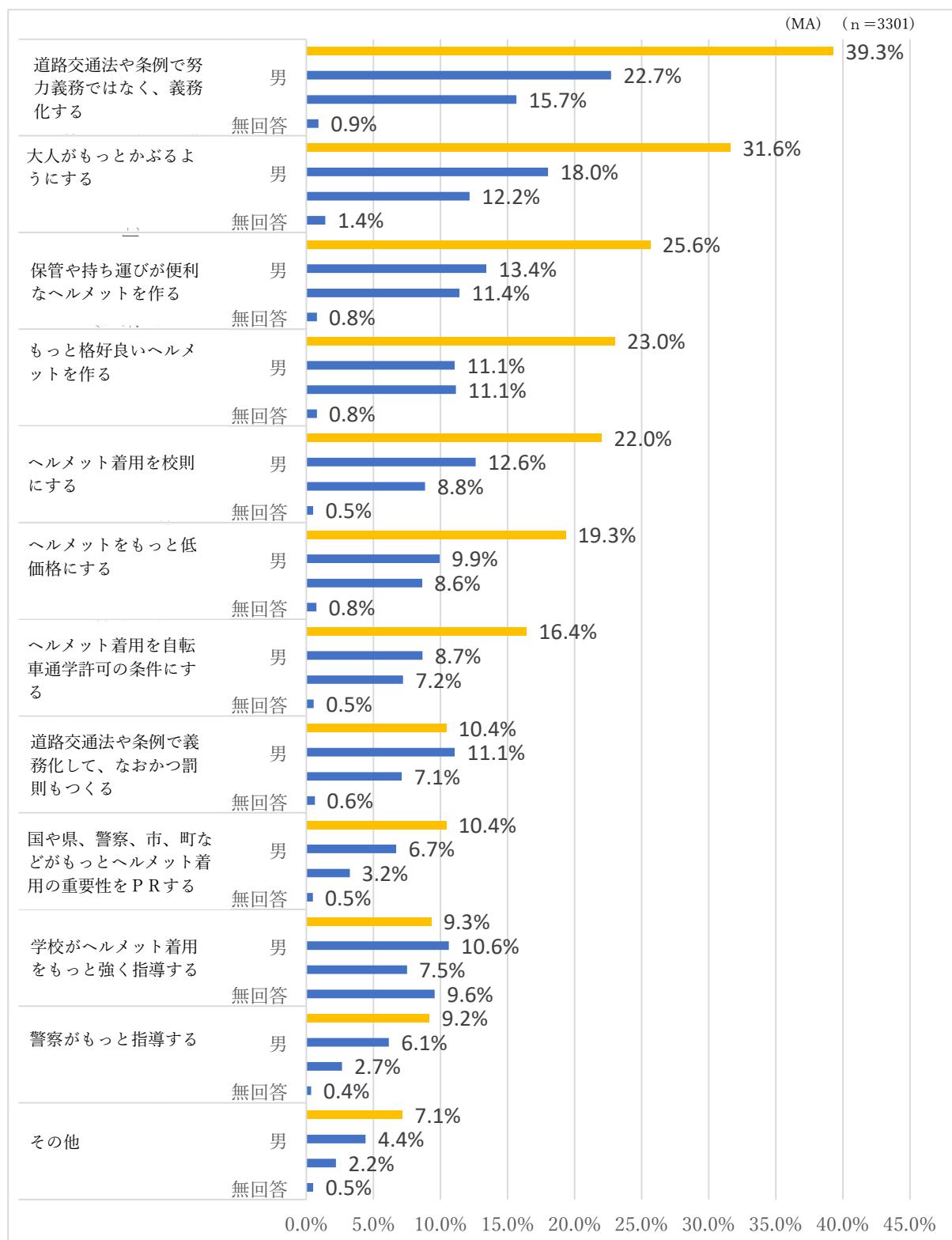
図8－2 ヘルメット非着用による致死率認知度



(8) ヘルメット着用率を向上させるための方法

問21 現在、高校生のヘルメット着用率は低い状況です。どうすれば、皆さんが出力ヘルメットを着用するようになると考えていますか。(複数回答可)

図9 着用率を向上させるための方法



5 自転車損害賠償責任保険に係る回答結果

(1) 自転車損害賠償責任保険加入義務の認知度

問15 自転車を利用する場合、栃木県の条例で、自転車損害賠償責任保険に加入することが義務であることを知っていますか。

問16 問15で「知っている」と回答した方に伺います。どのような理由で知りましたか。
(最大2つまで)

図10-1 自転車損害賠償責任保険加入義務の認知度

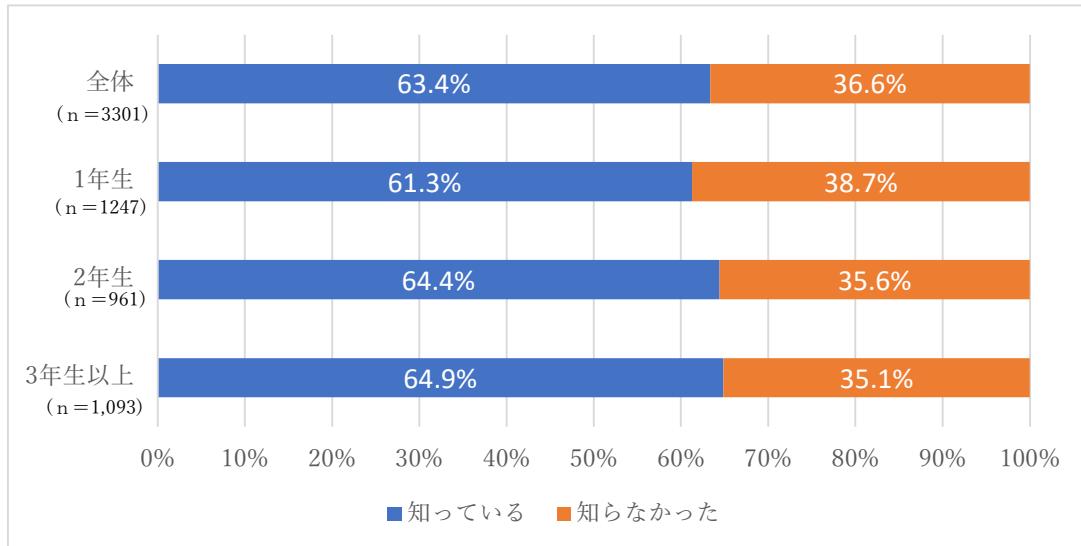
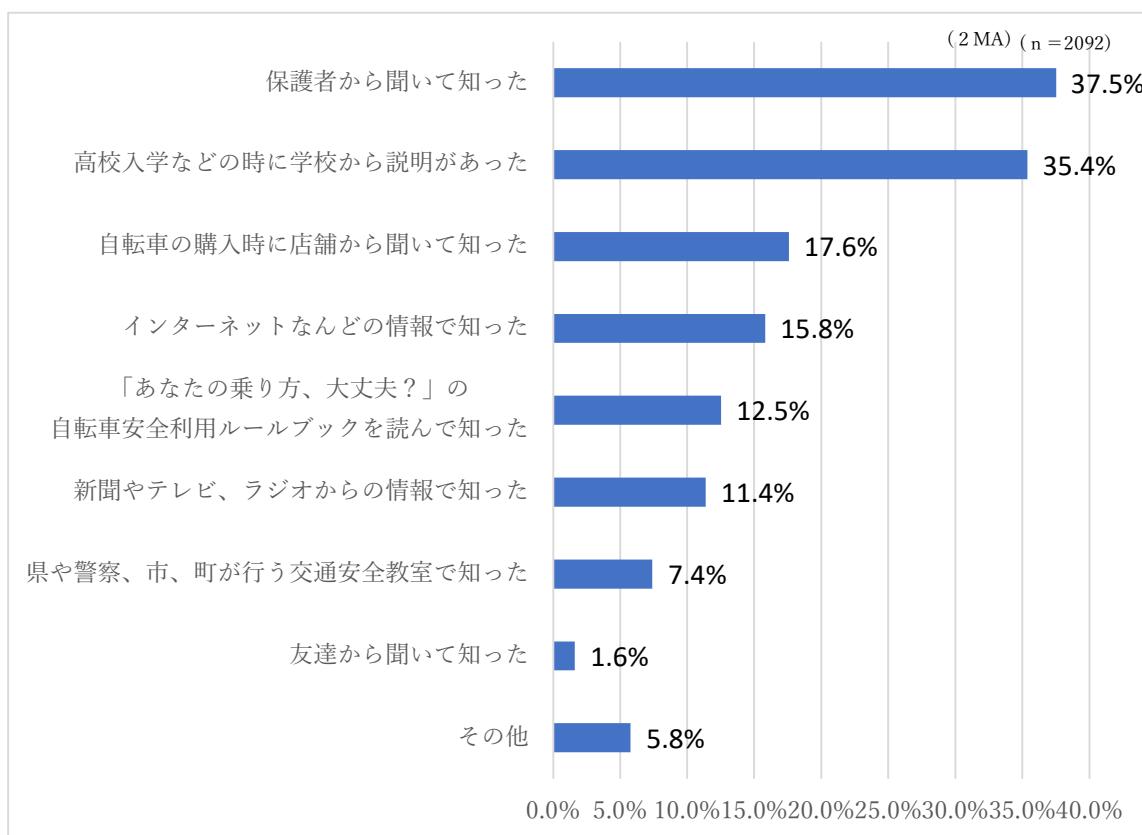


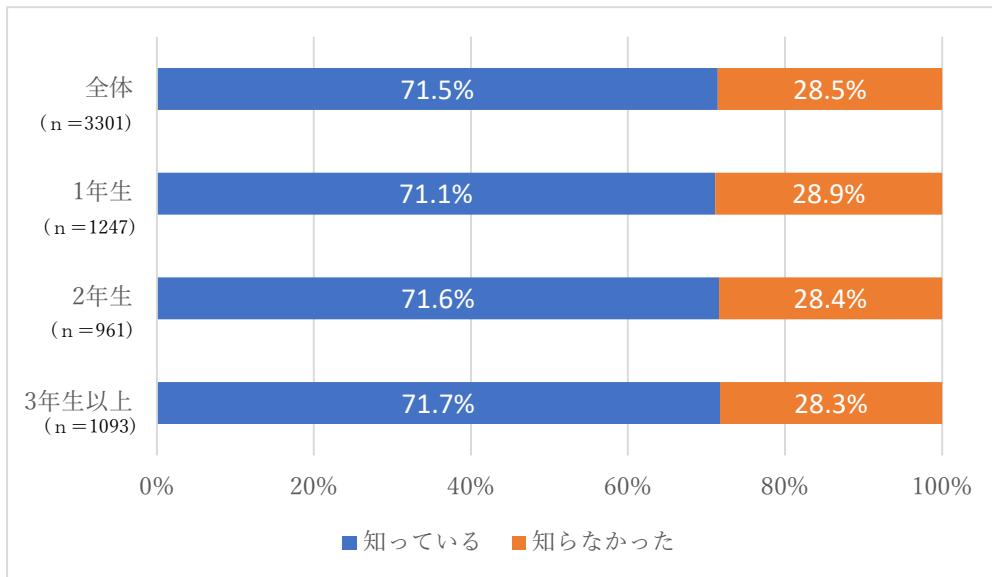
図10-2 知り得た経過



(2) 最高損害賠償額認知度

問 17 自転車の事故で相手に怪我を負わせてしまった場合、その損害賠償額が数千万円にものぼる場合があることを知っていますか。

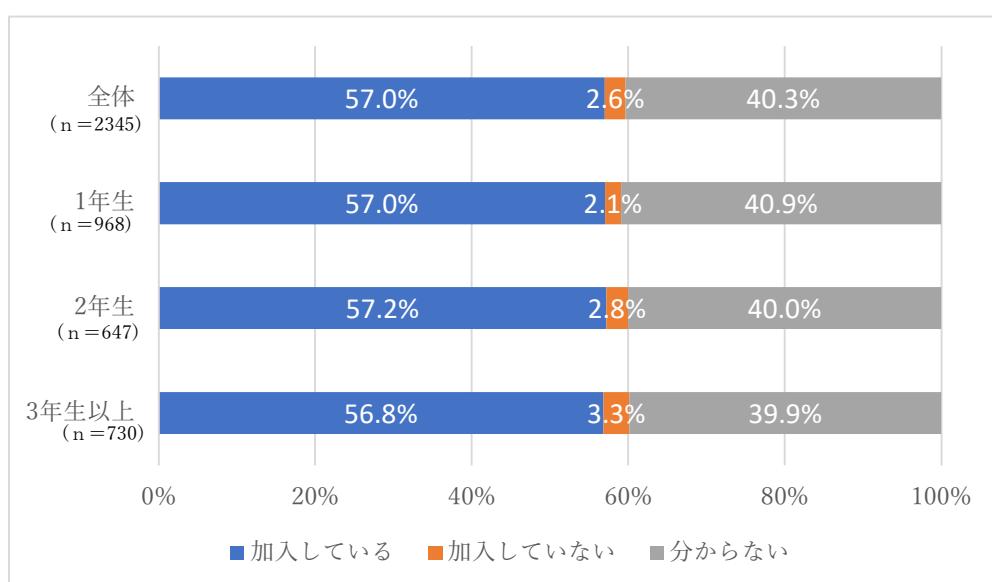
図 11 最高損害賠償額認知度



(3) 自転車損害賠償責任保険への加入状況

問 18 「自転車を保有して、利用している人」に伺います。
現在、自転車損害賠償責任保険に加入していますか。

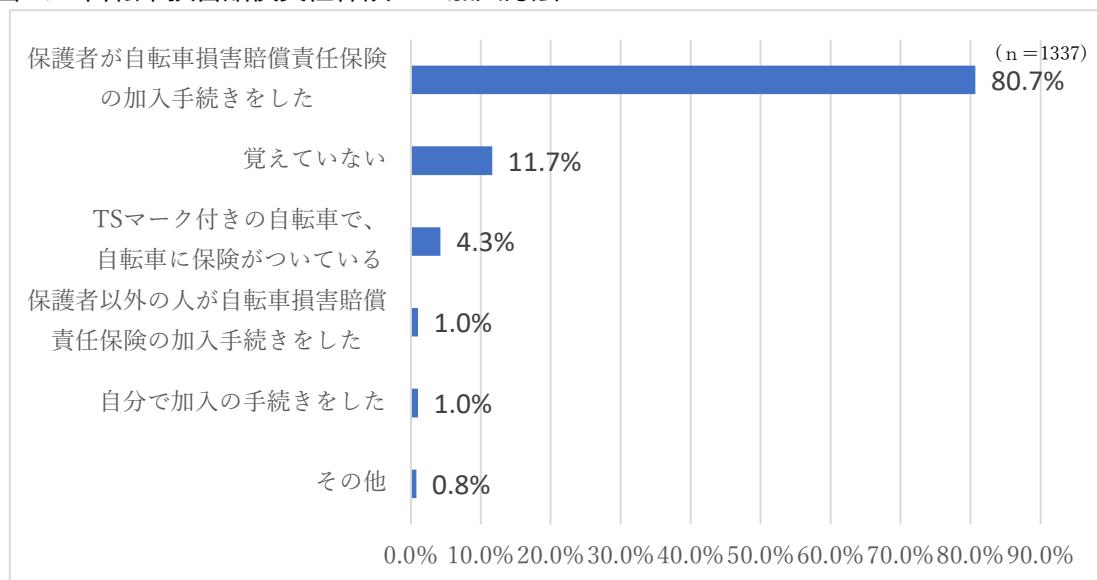
図 12 自転車損害賠償責任保険への加入状況



(4) 自転車損害賠償責任保険への加入方法

問19 問18で「加入している」と回答した方に伺います。
どのように加入しましたか。

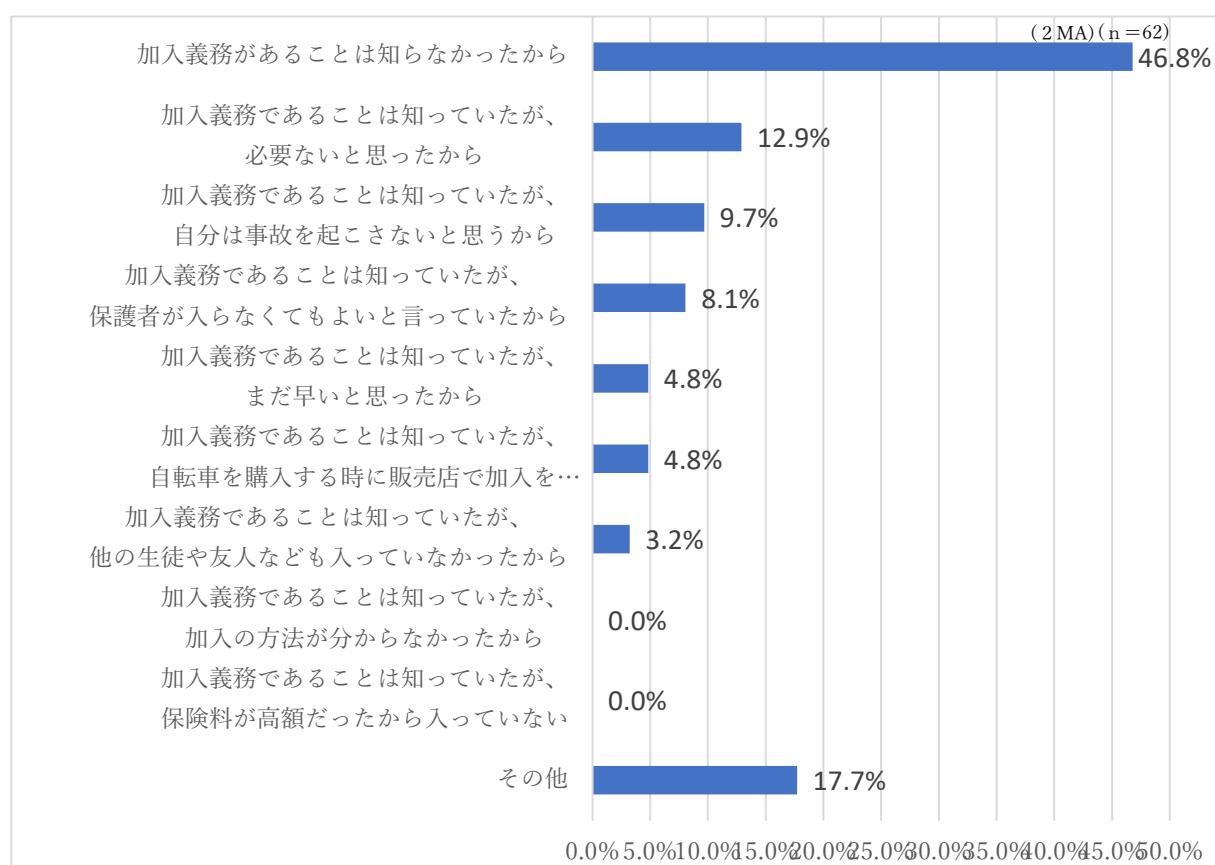
図13 自転車損害賠償責任保険への加入方法



(5) 自転車損害賠償責任保険へ加入していない理由

問20 問18で自転車損害賠償責任保険に「加入していない」と回答した方に伺います。
自転車保険に加入していない理由は何ですか。(最大2つまで)

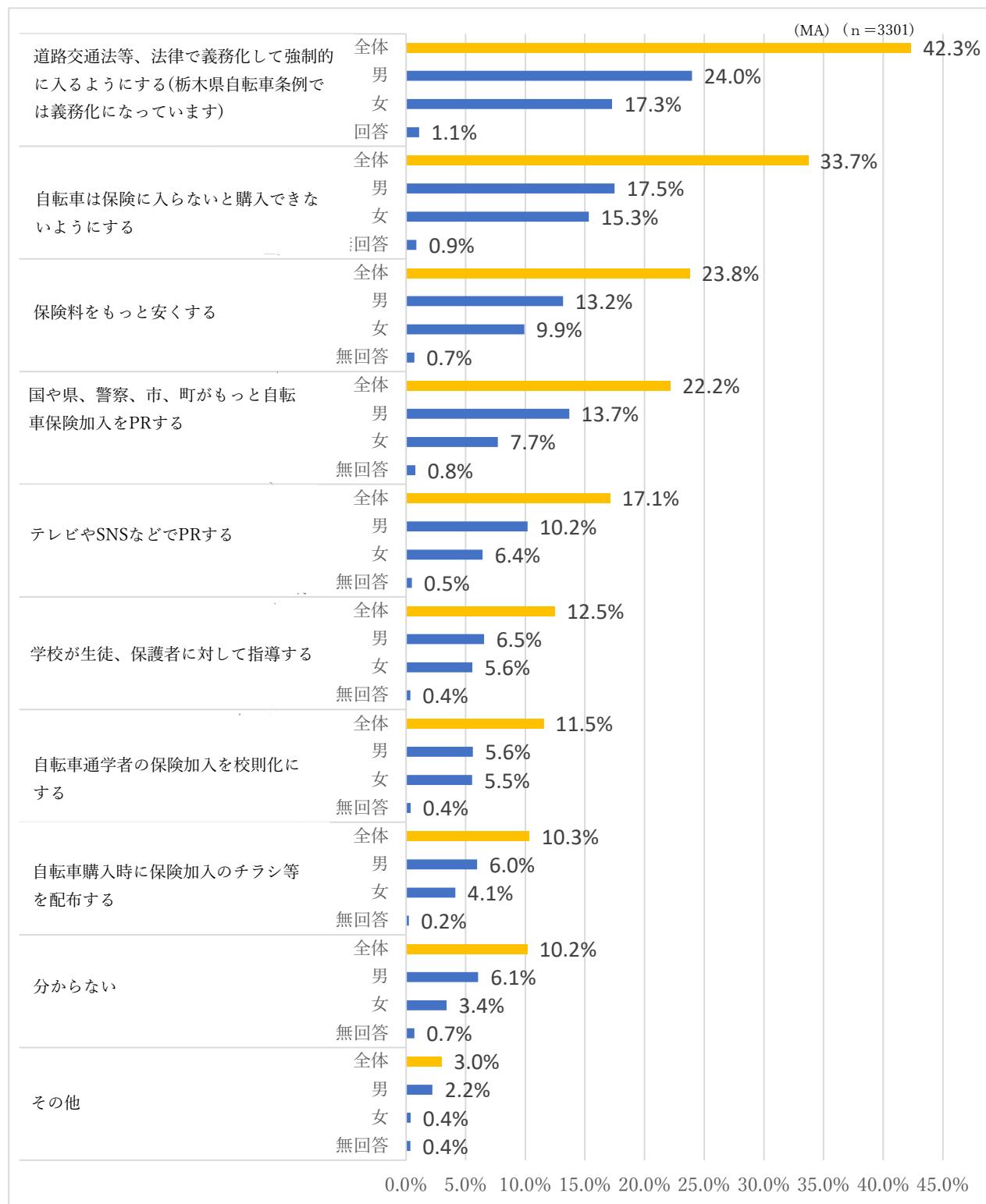
図14 自転車損害賠償責任保険へ加入していない理由



(6) 自転車損害賠償責任保険加入率を向上させるための方法

問 22 昨年の全国調査では、栃木県全体(成人を含む)の自転車損害賠償責任保険の加入率は他県に比較して低調でした。どうすれば、県内の自転車利用者の保険加入率を向上させられると考えますか。(複数選択可)

図 15 自転車損害賠償責任保険加入率を向上させるための方法



6 交通反則通告制度導入に係る回答結果

問23 令和8年4月から、16歳以上の方の自転車での信号無視や一時不停止、携帯電話使用運転などの一定に違反について、交通反則切符が適用され、反則金が課されるようになることを知っていますか。

図16 交通反則通告制度導入の認知度

